

6. 地域スポーツ団体等の出場について

○中体連主催の競技会

所属する学校もしくは、地域スポーツ団体等で出場する。ただし、地域別へ出場した所属を同一年度内で変更することはできない。またリレー競技及び駅伝については、地域スポーツ団体等として出場する場合は、同一中学校の選手のみで編成する場合に限る。

地域スポーツ団体等から出場する場合の地区については、在籍する学校の地区から出場すること。地域スポーツ団体等が所在する場所の地区ではない。また、地域スポーツ団体等に所属する選手の地区が複数ある場合は、それぞれの地区において申込一覧表を作成し、それぞれの申込先にデータを送付する。地域スポーツ団体等の監督またはコーチは、その大会のプログラム編成会議に出席することができる。

支部対抗は、選手が在籍する学校の市区町村より、地域スポーツ団体等の所属として出場する。

○東京陸協主催の競技会やその他の地域陸協等主催の競技会

① 1つの競技会に、「所属する学校」と「地域スポーツ団体等」の両方からの出場はできない。

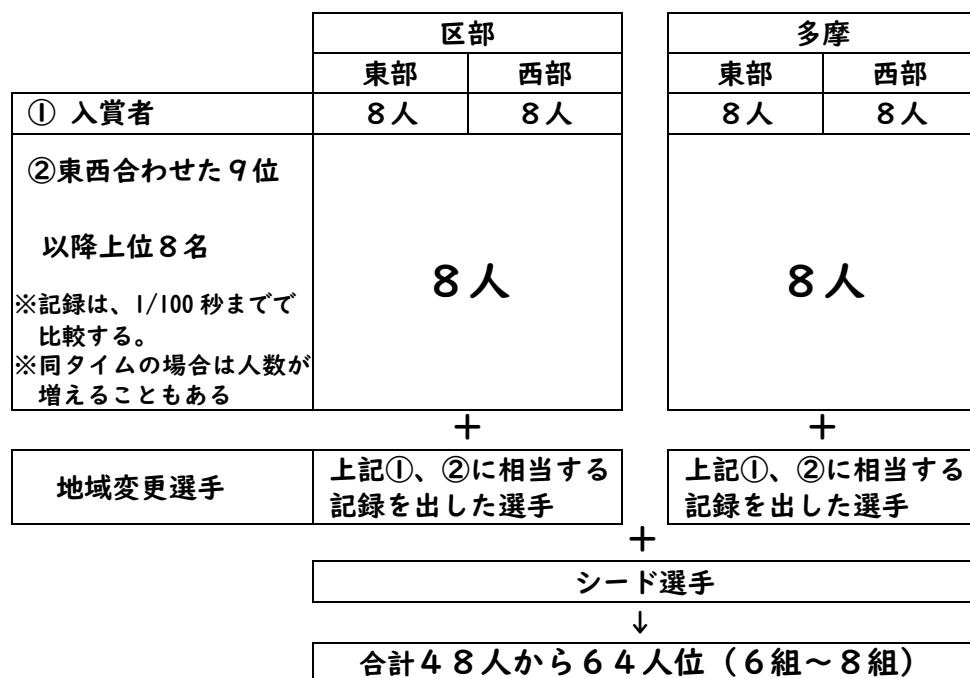
例) 共通 100m 倉持陸子(高尾三中) 共通 400m R 倉持陸子(上柚木JAC)

② 地域スポーツ団体等の選手の記録についても東京中体連の資格記録として公認し、東京都中体連記録 30 傑表に記載をする。

③ U16 陸上競技大会については、東京ジュニアに地域スポーツ団体等として参加した選手は、地域スポーツ団体等で出場できる。ただし、東京の中学校に在籍している者とする。

7. 総体・通信大会出場の標準記録突破者について

- 総体へは、地域別大会で標準記録を突破した者(チーム)及び8位入賞者(チーム)・それに相当する者(チーム)(地域変更者)に、出場資格が与えられる。
- 通信大会へは、地域別大会・総体で標準記録を突破した者(チーム)及び地域別・総体で8位入賞者(チーム)または地域別8位に相当する者(チーム)(地域変更者)に出場資格が与えられる。
- 走高跳・四種競技は地域別大会で標準記録を突破した者、棒高跳・円盤投は地域別大会または指定期間の公認競技会で標準記録を突破した者に、総体・通信の出場資格が与えられる。
- 前年度の入賞者(有資格者)も参加できるため、3名を超える場合もある。(3名を超える申込が可能な団体は、地域別大会開催中に本部へ申し出ること)
- 100m・200m・400m、100mH、110mHの出場資格は、下記の通りとする。



8. 都（総体・通信）大会出場有資格者について

*下記の条件を満たす者は出場できる。

1. 前年度 右記3大会8位入賞者（シード選手）【東京都総合体育大会、通信陸上、支部対抗陸上】

2. 出場種目について

①学年種目はそれぞれの上級学年種目

②1・2年種目は次年度の同種目（但しリレーを除く）

③1年男子（100mH・1500m）、2年男子（110mH）は共通種目へ

2年男子1500mは、共通男子1500mまたは共通男子3000mのどちらかに出場可

3. 「日清食品カップ」東京都小学生陸上競技交流大会、全国小学生陸上競技交流大会、東日本小学生函館大会（前年度）

男女100m、男女800m、男女コンバインドA：走高跳、男女コンバインドB：走幅跳、また1500mだけは、東京陸協主催大会の全ての大会において、総体の参加標準記録を突破していた場合、シード選手としての扱いとする。

※100mについては下記の記録を参加標準記録とする。（日本陸連全国ランキング100位相当）

	標準記録		標準記録
男子	13"00	女子	14"00

4. トラックフェスティバル東京、MDCFINALinTokyo2024の男女1500mにおいて総体の参加標準記録を突破していた場合、シード選手としての扱いとする。



9. 総体へのオープン参加について

出場有資格者が3名を超える場合、別途ナンバーを割り当てオープン参加としての出場を認める。総体は学校対抗なのでオープン参加の選手は次のラウンドへの進出やトップ8にも進出できない。但し、記録は公認し上部大会への出場資格は認める。（競技委員長に参加申し込みをすること）

10. 中体連主催大会における棒高跳・円盤投について

棒高跳と円盤投については、普及育成の観点から地域別大会においてオープン参加の出場を認める（棒高跳は、支部対抗でも認める。）以下、出場規準について示す。

1. 棒高跳

(1)地域別大会出場選手について：

①地域別大会に参加できる標準記録を設ける。（安全面での配慮）

（男子2m40 女子1m80 自校計測可）

②参加標準記録（上記）に達していれば、学校での参加人数の制限は設けない。

（正選手以外はオープン参加とし、3人目以降は、競技委員長から配当番号（要項17大会申込手順及び支部申込み場所 参照）をもらうこと。）

③オープン種目で出場した選手は、地域別大会に1種目出場したことになり、他種目は1種目しか出場できない。（但し、リレーの参加は可）

④オープン種目で出場した選手には賞状は出さない。

(2)都大会への参加条件について：

①総合体育大会の参加標準記録は男子2m60、女子2m00（公認記録）とする。この記録を4月1日（火）～6月22日（日）までに行われる公認大会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。

（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）

②通信大会の参加標準記録は、男子2m80、女子2m20（公認記録）とする。この記録を4月1日（火）～7月13日（日）までに行われる公認大会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。

（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）

③支部対抗には正選手以外にオープンで出場できるが、その場合の参加標準記録は 男子2m60、女子2m00とする（公認記録）。この記録をこの年度の支部対抗のプログラム編成会議までに行われる公認記録競技会で標準記録に達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。

(3)その他：安全面を考慮し、天候により棒高跳の日程を変更することもあり得る。

2. 円盤投

(1)地域別大会出場選手について：

- ①地域別大会に参加できる標準記録は設けない。ただし、自校で十分練習してくること。
- ②学校での参加人数の制限は設けない。（正選手以外はオープン参加とし、3人目以降は、競技委員長から配当番号をもらうこと。）
- ③オープン種目で出場した選手は、地域別大会に1種目出場したことになり、他種目は1種目しか出場できない。（但し、リレーの参加は可）
- ④オープン種目で出場した選手には賞状は出さない。

(2) 都大会の参加条件について

- ・総合体育大会の参加標準記録は、男子23m00、女子21m00を4月1日（月）～6月22日（日）までに行われる公認大会で達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。（各校2名まで。前年度の入賞者（シード選手）がいればそれ以上もある。）
- ・通信大会の参加標準記録は、男子24m00、女子22m00を4月1日（月）～7月13日（日）までに行われる公認大会で達していれば、その記録証明証（コピー可）を提出することによって出場できる。（各校2名まで。前年度の入賞者（シード選手）がいればそれ以上もある。）

***オープンの3人目以降の参加選手の配当番号は競技委員長あてにメールをし、右のQRコード内のエクセルデータを送ること。**

その際、件名は競技会名オープン種目参加希望とし、内容に団体名、種目名、生徒名（プログラムに載せる漢字とふりがな）、学年、顧問・団体指導者氏名を右下のQRコード（中体連HPの大会要項の一番下に格納）のエクセルファイルを記入すること。



11. 忘れ物の問い合わせについて

◎中体連主催の大会当日に本部に届けられた忘れ物については、大会終了後、2週間に限り保管をするので、下記の担当者へ問い合わせること。

- ① 地域別大会 区部・・・足立区立第十一中学校 近藤 敏孝 教諭
 多摩・・・八王子市立石川中学校 岸 道哉 教諭
 ② 総合体育大会 ・・・八王子市立石川中学校 岸 道哉 教諭
 ③ 通信大会 ・・・八王子市立石川中学校 岸 道哉 教諭
 ④ 支部対抗大会 ・・・足立区立第十一中学校 近藤 敏孝 教諭
 ⑤ 東京都駅伝大会・・・足立区立第十一中学校 近藤 敏孝 教諭
 ⑥ ロードレース大会 区部・・・足立区立第十一中学校 近藤 敏孝 教諭
 多摩・・・八王子市立石川中学校 岸 道哉 教諭

※保管期間(2週間)を過ぎた物は処分する。

※処分するに当たって、費用がかかる。帰宅前に忘れ物がないか、確認する。

※競技場へは、直接問い合わせないこと。